

アポプラスキャリア ラーニングカフェ 交流会 VOL. 4

人事屋さんの仕事論 時代の潮流を読み、経営・人事戦略として
産業保健を活かすために

人事業務の煩雑さが増している今、人事のプロになるために何が必要なのでしょう。また、人事のプロとして産業保健をどのように活用していけばいいのでしょうか。第4回は人事の未来に向けた、人事と産業保健の関わりについて考えます。今回からセミナー後に交流会の時間が設けられ、参加者同士や講師との情報交換や交流が深められる機会が設けられました。

「惑う」人事に光を灯せ

今年度最初のアポカフェは、さまざまな企業の人事部に所属する22人が集いました。講師から事前アンケートが共有され、人事の仕事を「多忙」「煩雑」「孤独」だとしつつも、「チャレンジ」「人と事業の成長支援」ができる仕事だと捉え、今後も人事の仕事を続けたいと考えている傾向にあることがわかりました。一方で、伴走者である産業保健との協業には困難を感じる現状が示され、活用迷子となり「惑う」人事に仕事論からヒントを探る旅が始まりました。

「フリーランスの人事部長」が語る人事論

ゲストスピーカーとして株式会社方告堂の赤坂裕司氏が登壇し「産業保健は人事の重要な専門性のひとつ」でありながら、「社員が健康であること」の視点が当たり前すぎて抜けていると指摘しました。

また、昭和の人事と令和の人事を比較しながら働き方の変遷をたどり、企業が働き方改革や健康経営に取り組むことが必須となっている昨今、社員のウェルビーイングは時代の要請だと述べました。

それを実現するために「現場」「現物」「現実」の三現主義が重要だと自身のエピソードを交えながら話し、現場を知ることこそ人事の基本だと説きました。そして、これから企業が淘汰されていく時代に突入する中で、人事が産業保健とタッグを組んでいくことで「人事の一次予防」が推進でき、それが企業の成長につながっていくと話しました。

他企業との交流で人事が進化する

赤坂氏の講演後は、参加者が感想と質問をそれぞれ付箋に書き壁に張り、赤坂氏と講師によるトークセッションの中で各現場が抱える困り事に回答しました。

セミナー終了後、会場は初の試みとなった懇親会へと模様替え。軽食と飲み物を囲みながら参加者同士の交流や、赤坂氏・講師への個別質問などが活発に行われ、参加者は「惑い」の中から「光」を見出し帰路につきました。

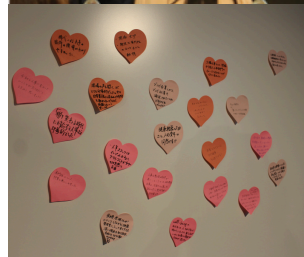
開催日時：2024年6月14日 16:00-18:30

会場：新東京ビル4F SR MeetupSpace

講師：久保さやか／保健師

アポプラスキャリア株式会社

エグゼクティブアドバイザー



参加者の感想

三現主義に共感し、自分の考えは間違っていないと安心しました。



他社の人事の方のお話を聞く機会がなかったので、今回参加して今まで何となく感じていたことを言語化してもらえたように思います。



お問い合わせ先

アポプラスキャリア株式会社
ヘルスケアソリューション事業部
カスタマーサクセス
〒100-0005
東京都千代田区丸の内三丁目3番1号
新東京ビル7階
TEL 0120-842-862
MAIL apc-kan543@ap-c.co.jp